



チームプレーとチーム学校

チームプレーとは、『個人の成績よりも、チームの勝利や仕事の円滑化を優先させた共同プレー』のこと。

チーム学校というのはー

「チーム学校」ってなに？

少子化が進む中で、将来の学校の姿をどうするのか。最近、文部科学省は「チーム学校」の実現をめざす、そんな言い方をしています。いったいどんなものなのでしょう。

■一口で言うと

学校といとなんでもかんでも先生が切り盛りしていたのを、専門スタッフや地域の人たちの力を借りて、チーム力で乗り切れるようにしようという考え方です。小中学校、高校を、大学なみにとはいわないまでも、先生を支える専門スタッフのいる大学のように、先生が授業に専念できるような体制作りをめざそうというものです。※NHK for School ブログ(<https://www.nhk.or.jp/school-blog/500/203666.html>)より抜粋

ーという意味で、教職員だけがチームを組んでことにあたるということではありません。なので、管理職が教職員に対して、『チーム四箇郷で〇〇しましょう』と言うのは本来の意味からすると間違っていて、その場合は、チームワークやチームプレーという言葉を使うべきでしょう。

さて、チームプレーについてですが、本校の育生会に対して常々感じていることがあるので少しばかりつらつらと…

校長として赴任して2年と少し、会長を中心に誠に協力的な組織運営であると断言します。誰もが仕事と家庭を持ち、誰もが不安と事情を抱えながら、責任感と奉仕の精神で取り組んでくれる方の何と多いことが。それゆえに、退任する際、これまでのことを思い出して涙を流す方もいらっしゃいます。達成感と安堵感の入り混じった気持ちとともに、これまで共に頑張ってきた者同士と離ればなれになるのが寂しいのかもしれないね。

事実、私(わたくし)も会や行事とともに過ごした方々と、お別れするのは心なしか寂しいものです。私がこの学校でやりがいを感じている理由のひとつとして、このような育生会の活動があるからだと言えます。



『チーム学校』はさておき、仕事上の義務としてのチームと、奉仕の精神でのチームプレイとでは、その喜びがちがって当たり前です。チームプレーに徹している育生会の方々と、一緒に活動できることを自分は幸せに感じていると言えば大げさでしょうか。